



発行所
世界日報社

東京都渋谷区宇田川町12番9号
郵便番号 150
電話 (03) 3476-3411
郵便振替口座 東京7-40860番
©世界日報社 1991

「日韓トンネル実現を」

鄭代表 国民運動の推進表明

日韓人協会が
特別講演会



日韓トンネル特別講演会＝10日、東京都港区の機械振興会館で

日本人の最も身近な隣人・在日韓国人と共存共栄する社会を目指して活動している日韓人協会は10日、東京都港区の機械振興会館で「夢が可能な日韓トンネル」をテーマに特別講演会を開催した。韓国の世界的宗教指導者、文鮮明師がソウルでの「第十回科学の統一に関する国際会議」で国際ハイウェイ・日韓トンネルのプロジェクトを提唱してからこの日で満十周年を迎えたことを記念して、自民党参院議員で工学博士の野沢太三氏と千葉大学名誉教授の清水馨八郎氏が講演した。

はじめに、国際ハイウェイでつなぐ未来の理想世界がアニメーションで紹介された。続いて日韓人協会の鄭時東代表が「二つの祖国を持つ在日二世として、複雑な問題が起るたびに胸を痛めてきた。希望あふれる新しい日韓関係を作り上げるために、日韓トンネル実現に世論を喚起していきたい」とあいさつ。今後、一万二千人の会員が中心となって、日韓トンネル実現に向けた国民運動を推進することを表明した。

元国鉄施設局長で青函トンネル建設に携わった野沢氏は、「一番近い隣国と仲良くするには交通を便利にすることが必要。日韓トンネルで陸続きになることは、未来に二つの国として付き合える保障になる」と強調。「二百年かけて夢が現実になった」「ドーバー海峡トンネルを視察したスライドを用いて、EC統合により九三年開業に向けて急ピッチで建設が進んでいる様子を説明した。

同氏は日韓トンネルの見通しについて、「五十年以内には韓国経済が発展し、南北平和統一や中ソとの経済交流が進む可能性がある。全長五十二キロのドーバーは二兆円かかったのに、二百五十キロの日韓トンネルには最低十兆円かかる。道路、鉄道とともに、通信・電力ケーブルを通すことで、両国の開発受益者に応分の資金提供を呼びかければ総合的に費用をまかなえる。技術・経済・政治が三位一体になり、国民の理解を得るようPRしたい」と語った。

日韓トンネル研究会常任理事の清水氏は、「世紀末の十年間には宗教・民族問題から地域紛争が起る。子孫のために二十一世紀への懸け橋として、平和の大道・国際ハイウェイを貫通させよう。日本はシルクロードで得たアジア文明の成果を世界に返そう」と訴えた。日韓トンネルは、これまで佐賀県東松浦郡鎮西町で調査斜坑四百十メートルの掘削が行われている。